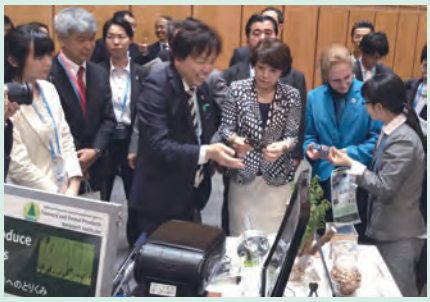
G7伊勢志摩サミット及びG7茨城・つくば科学技術大臣会合に出展

5月26日、27日に三重県志摩市で開催された「G7伊勢志摩サミット2016」に合わせて、「国際メディアセンター（IMC）」において森林総合研究所が中心になって進めている研究コンソーシアム「SIPリグニン」の研究成果が紹介されました。本展示は、日本の誇る科学技術や伝統技術を紹介するイベントですが、会場ではスギ材から機能性を持つリグニンを抽出する技術（GP process）を動画で紹介するとともに、製品サンプルなどを展示しました。

また、これに先立ち5月15日からつくば市で開催されたG7茨城・つくば科学技術大臣会合において、最先端の科学技術を紹介する特別展がつくば国際会議場で開催され、森林総合研究所からは、リグニンの他、セルロースナノファイバーとアマゾン熱帯林の管理に関する研究成果を紹介しました。

G７伊勢志摩サミットでのリグニン研究の展示の様子



G７科学技術大臣会合における研究成果の説明（右から3人目 島尻科学技術担当大臣、2人目 米国ハンテルスマン科学担当次長）

バイオマスエキスポ展に出展

6月15日（水）から18日（金）に東京ビックサイトで開催された「スマートコミュニティJapan2016バイオマスエキスポ」において、当所で研究・開発を進めている木質バイオマスの有効利用技術を紹介しました。3日間で約4万人の来場があり、当所の展示ブースにも多くの方に来ていただきました。15日には齋藤健農林水産副大臣が当所ブースを訪問され、リグニンやセルロースナノファイバーの製造・利用技術について熱心にご覧いただきました。また、バイオマスエキスポフォーラムでは、山田竜彦木材化学研究室長と千葉幸弘研究コーディネーターが、それぞれ「地域のリグニン資源が先導するバイオマス利用システムの技術革新」、「森林の生産力、持続性と人為制御」と題する講演を行いました。

山田竜彦室長の講演の様子

齋藤健農林水産副大臣（右から2人目）

杉山英男賞受賞

平成28年6月15日（水）に開催された第29回木質構造研究会総会において、当所の構造利用研究領域チーム長　長尾　博文と複合材料研究領域チーム長　宮武　敦が、「木質材料・木質構造技術研究基金賞　第一部門（杉山英男賞）」を、共同受賞しました。授賞理由は、日本農林規格（JAS）の製材・構造用集成材・構造用単板積層材（LVL）・直交集成板（CLT）等、建築構造用途を中心とした木質系材料の規格制定・改正において、製造・品質管理の方法検討から、実大試験による強度特性把握・性能確認まで、長年にわたって実証に基づく基礎実験データを積み上げて、我が国における木質構造材の市場拡大に貢献したことです。詳細については、木質構造研究会HP（http://www.jites.org/）をご覧ください。

左から、宮武チーム長、長尾チーム長

平成28年度一般公開を開催
もりの展示ルームを夏休み公開

今年度の一般公開が、初の夏季開催で7月30日（土）に行われ、来場者数735名という記録的な大盛況となりました。研究成果の説明展示、クイズラリー、昆虫教室、樹木園見学、木材標本庫の見学に加えて、初企画として「木材のフィンガージョイント接合の実演」、「木の顕微鏡観察」、「飛ぶタネの風洞実験」を行いました。さらに、「北極圏の森と永久凍土」と「生物多様性と炭素吸収源」に関するミニ講演会、ウッドクラフト体験、苗木プレゼントなど、多数の催しを行いました。

つくばちびっ子博士2016指定見学施設として、「もりの展示ルーム」を7月23日（土）～8月31日（水）に公開しました。特別展示「災害とたたかう森林」をはじめ、生きたカブトムシ・コーナー、世界一重い木・軽い木など多数の展示を行いました。

昆虫教室

ウッドクラフト体験

平成28年度
ダイバーシティ推進の取組

平成28年度からこれまでの「男女共同参画室」は「ダイバーシティ推進室」と名称が変更し、メンバーも替わりました。エンカレッジ推進本部もダイバーシティ推進本部となり、アドバイザーには引き続き柘植あづみ先生をお迎えし、男女共同参画を基本としたダイバーシティの推進とワーク・ライフ・バランスの実現を目指した積極的な取組を行います。

6月には第20回エンカレッジ推進セミナーとして「理想の願望の達成に向かって、モチベーションのスイッチを入れる！」を開催し、多くの職員が参加されました。また、男女共同参画週間（6月23日～29日）には、啓発パネルの展示と同時に、一時預かり保育施設「どんぐりるーむ」の見学会を行い、若い方に子育てしやすい職場環境を実感していただきました。介護に関する要望が高いことから、昨年度末に介護ガイドブックを発行したほか、介護コラムも引き続きダイバーシティ推進室のHPに掲載予定です。その他にもHPを通じた情報発信を続けていきますので、ご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

ダイバーシティ推進本部アドバイザー
柘植あづみ先生（写真中央左）と
ダイバーシティ推進室のメンバー

一時預かり保育施設
「どんぐりるーむ」
見学会の様子

森林総合研究所 研究報告

Vol.15No.1-2（通巻438号）
2016年6月
https://www.ffpri.affrc.go.jp/pubs/bulletin/

●論文
福島第一原子力発電所事故で放射能汚染したスギ人工林における葉の交代とセシウム137濃度の経年変化予測（英文）
清野 嘉之、赤間 亮夫

●ノート
外生菌根性担子菌マツタケと実験樹種 *Populus tremula* × *tremuloides* との組織内における *in vitro* での相互作用（英文）
村田 仁、山田 明義、山本 航平、丸山 毅、伊ケ崎 知弘、毛利 武、山中 高史、下川 知子、根田 仁

■特集
2013年伊豆大島土石流災害と森林
特集号の刊行によせて
大丸 裕武

■論文
伊豆大島2013年10月16日斜面崩壊発生地点周辺の樹木の現存量
伊東 宏樹、松井 哲哉、飛田 博順、五十嵐 哲也、小川 明穂、松浦 陽次郎

■研究資料
2013年台風26号により伊豆大島で崩壊が発生した崩壊斜面頭部の樹木根系の分布状況について
村上 亘、小川 明穂、小川 泰浩、大丸 裕武
2013年台風26号により伊豆大島で崩壊が発生した斜面周辺に見られる風倒木の特徴について
村上 亘、小川 明穂
写真測量による伊豆大島三原山北西斜面における近年の植生高変化の復元
大丸 裕武

編集委員：小泉透　河原孝行　市田憲(NPO法人才の木)　宮本基杖　宮俊輔　大沼清仁　河野裕之　齋藤英樹　松永正弘　中村充博

表紙の写真：南禅寺（静岡県賀茂郡河津町谷津）のカヤ製の天部立像２体
裏表紙の写真：唐古・鍵遺跡（奈良県磯城群田原本町）第１次調査で見いだされた弥生時代前期のイチイガシ製平鍬